

UCHIKOCHI

vol.59

UCHIDE no KODUCHI

売上拡大中！

滋賀のキラリと光るモノづくり企業

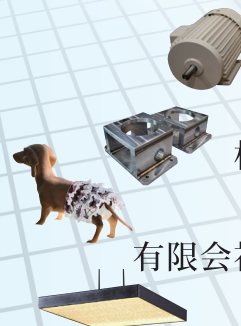
特集1

草津電機株式会社 P2

株式会社キーテック P4

(P6、P7は削除しました) P6

有限会社和晃プラスチック P8



プラザの事業紹介

サポイン事業報告 P10

IoTをビジネスに活かす P12

インフォメーション P14

平成28年度イベント・セミナー概要 P18

特集2

地域の創業応援隊育成事業 P19



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

世の中にない新しい技術で 社会に誇れる企業を目指して

草津電機株式会社

代表取締役社長 きたむら よしひで 北村 嘉英 さん

戦後の荒廃した滋賀県草津市で、1948年に高田三郎氏たかださぶろうと北村辰雄氏きたむらたつおの兄弟によって創業された草津電機株式会社。産業の中核であるモータに着目し、修理販売の仕事を開始。大手家電メーカー各社と取引することで技術力を磨いてきた。主力はモータの開発・製造で、国内では産業用のモータを小ロットで、海外では家電用などの大量生産に重点をおいている。創業時より近江商人の三方良しの精神、特に「世間よし」のスピリットで、社会に役立つ、様々な新製品の開発に力を入れている。



まずは発想ありき そこへ追いつく努力を

— 事業内容を教えてください。

お客様の要望に合わせて、産業用のモータを開発、製造することが主な事業です。1970年頃、日本の高度経済成長期に、大手家電メーカー各社と取引を始め、順調に業績を伸ばしてきました。

「近江商人は滋賀だけに留まらず、外へ出て成長する。それが『世間よし』に繋がるのだ」という先代の教えで、栃木や秋田、島根など県外にも工場を建設することになりました。1980年代後半にはプラザ合意による円高対策として、積極的に海外へ進出していきました。シンガポールやタイ、中国、フィリピンと海外に4拠点があります。

弊社の特徴としては、モータを製

造するための巻線機や検査機、成形機など生産設備の7割強を内製化していることです。自社で使いやすいように設計できることはもちろん、不具合や故障の場合でも迅速に修理できるメリットがあります。生産設備費用を大幅に削減できるのも魅力です。また、どこかの工場設備を改造して、いい結果を出した場合、他の工場の機械もすぐに同様の改良ができます。

現在、国内工場では産業用モータのニッチな需要に応えるため、図面は全てデジタルデータ化し各々のタブレットに配信する、一人組立て生産方式を採用しています。修正が入った場合、すぐに最新の図面データに更新できるなど、正確かつ迅速な対応ができるからです。多品種小ロットの生産ができることは、他にはない、弊社の大きな強みになっています。それを実現してくれて

いる優秀な社員がいるということに大変感謝しています。

— サポイン[※]に採択されたそうですね。

サポインは、今ある技術をさらに高めて新製品を開発することを目的としています。この理念が、今の草津電機が目指すところと合致していました。

創業時から近江商人の三方良しの精神を大切にしています。CSR(企業の社会的責任)を果たすよう、従業員の幸福度を上げ、環境に配慮し、工場の騒音、排水問題などに取り組み、地域社会との信頼関係を築く努力をしまりました。

しかし、それだけではなく、特性を活かして会社のレベルをもう一段、高みへ引き上げ、キラリと光る存在になれないだろうか考えるよ

DATA

草津電機株式会社

- 代表者／代表取締役社長 北村 嘉英
- 従業員数／910名(グループ計)
- 住所／〒525-8501 滋賀県草津市東草津二丁目3番38号
- 設立／1948年
- 業務内容／小型モータ・ポンプの製造販売
- TEL：077-563-5111



うになったのです。

「世の中にないものをつくる」と宣言し、将来に向かって草津電機が何をすべきかについて、社員に募集することにしました。そうして出て来たのが「健康、医療機器」分野へのモータ事業の進出でした。

グループ会社のケーピーエス工業(株)には、優れたポンプ技術があります。それを応用し、酸素を圧縮して送り出す人工呼吸器用のポンプの開発に着手しました。これは肺疾患の方が自宅で使用しやすいよう、小型で動作音が静かでなければなりません。ここに弊社の小型で高性能なモータが必要となる訳です。サポインに採択されたのは「革新的巻き線技術による在宅用人工呼吸器向けマイクロモータの開発」です。

モータの進化が 最終製品を進化させる

— 新技術はどのような製品に応用されるのですか？

現在、医療用モータは海外製のものが広く使われています。そこで22mm以下のマイクロモータを純国産で生産しようと考えています。モータを小型化する為には、磁石の効率を高め、回転数を上げる必要があります。そこで従来とは全く違う新しい巻き線方法を開発し、素材にアモルファス合金材を採用することで、実現させる計画です。ファンを回す技術、銅線素材の検討など、弊

社だけではできないこともあるので、この事業では、ケーピーエス工業(株)の他、信越電線(株)、滋賀県工業技術総合センターと連携し取り組んでいます。

このマイクロモータが完成すると、医療分野以外にも広く応用されることが予想されます。身の回りにある動くものには、モータが使われているものが沢山あります。モータの小型化、高性能化で、様々な製品が小さく軽くなるでしょう。草津電機の技術が未来の生活をより便利で快適なものにできるはずだと信じています。

— 今後の目標を教えてください。

今回のマイクロモータの開発には、社内から6名の技術者を抜擢しました。実は最初にサポインに応募した年は残念ながら不採択でした。採用されるには、何を開発するかだけではなく、市場性や事業の発展にどう結びつけるかなど、様々な考察が必要だったのです。そこでプラザさんに何度も足を運び、研究内容をブラッシュアップしたところ、2



▲技術部長の下村徹さん。サポインに取り組むことで協力会社との連携の大切さを再認識したという。

年目で採択が決定しました。これは技術部だけではなく、品質管理部、製造部など、社内全体の意識改革に繋がり、非常にいい経験になったのではないかと思います。プラザさんには経験豊富な各分野の専門家が多数在籍され、ノウハウも蓄積されています。少し敷居が高いように思いましたが、一度相談してみると、とても親身になって相談に乗ってもらえるので、大変助かりました。

来年、弊社は70周年を迎えます。この節目の年に向かって、社内では新たに6つのテーマに取り組み、さらなる目標へと走り始めています。滋賀から、今までにない新しいモータを生み出し、社会に貢献できる企業でありたいと思います。



▲サポインの補助金で導入した、ファン風力測定装置。従来よりも、より正確な測定値を出せる高性能なもの。



▲本社1階にあるショールーム。様々なタイプのモータが展示されている。

※サポイン事業

戦略的基盤技術高度化支援事業(サポーター・インダストリー、通称「サポイン事業」)は、デザイン開発、精密加工等の特定ものづくり基盤技術12分野の向上につながる研究開発、試作等の取組みを、国が支援する制度です。滋賀県産業支援プラザでは、本事業に挑戦する企業等のプロジェクト構築から公募申請、および事業管理までの支援を一貫して行っています。

問い合わせ先

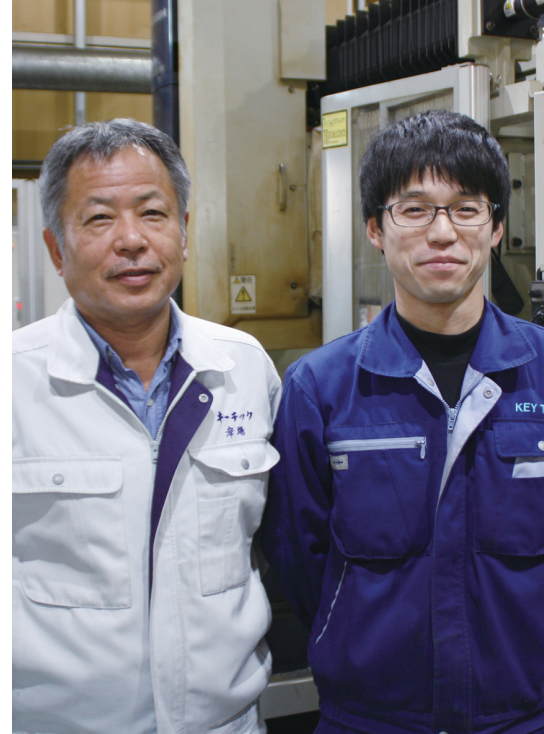
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 ものづくり支援課 担当/熱田・草間
TEL: 077-511-1414 FAX: 077-511-1418 E-mail: shin@shigaplaza.or.jp

勇気と夢を持って 社員 10 人の企業がベトナムへ進出

株式会社キーテック

代表取締役 きしば よしのぶ 岸場 功修 さん 管理課長 きしば けいた 岸場 啓太 さん

一般産業機械の設計、製作、据付、保全までをトータルに手がける株式会社キーテック。創業からわずか 16 年で、栗東工場の他、ベトナムにも工場を持ち、新規でベトナム進出する企業の工場設備などを広く手がけている。ベトナム人スタッフを「使う」のではなく、信頼し「任せる」という岸場社長ならではの経営方針が、社員の向上心を引き出し、困難な状況でも諦めずチャレンジし続ける好循環を生み出している。ベトナム経済の発展とともに、先駆者としての存在感は、益々大きくなることだろう。



日本とベトナムの架け橋に ベトナム進出企業をサポート

— 設立の経緯を教えてください。

15 年前まではエンジニアとして産業機械メーカーに勤めていましたが、会社が突然倒産してしまったのです。従業員はもちろん、機械を納入していた取引先の方も、その後のメンテナンスをする会社がなくなり、大変困っている様子でした。そこで、当時の同僚 5 人とキーテックを立ち上げ、保全作業を引き継ぐことにしたのです。

取引先は上場企業だけで 10 社以上ありましたし、それが信用となったのか、新規の仕事も次々と入ってきて、業績は順調でした。主に産業機械を扱っていましたが、2001 年には大手エステ会社から「全自動人間洗濯機」の共同開発・製作の依頼

を受け、1 年間で 100 台のマシンを納入した実績もあります。

「優れた機械を適正価格で」をモットーに、お客様に喜んでいただける仕事を続けた結果、創業から 2 年目の 2002 年には、自社工場を建てることができました。

— ベトナムへ進出した理由は？

2009 年のリーマンショックで、突然仕事がなくなりました。その年の売上は前年の 3 分の 1 に激減し、社員をリストラしなければならないほど、苦しい状況に陥ったのです。

そんな中、取引先のメーカーから、ベトナムで工場を持つことを勧められたのです。弊社ではリーマンショック後、どのように製造コストを下げればいいのかという課題がありました。そして、そのメーカーも近い将来、海外に生産工場を移

すのではと予想し、その前に、弊社が拠点を持つことは、大きなアドバンテージになるのではないかと考えました。

まず現地の様子を見ておこうと、初めてベトナムを訪れたのが、2010 年の 10 月でした。その 2 か月後にはロンハウ工業団地と契約し、2011 年の 2 月には営業許可が下り、操業までトントン拍子に進んでいきました。

その後、ベトナムに進出してくる日系メーカーから工場設備の仕事が徐々に入り始めました。そして、ある大手建材メーカーから、ベトナム工場建設にあたり、合板を作る材料となる木材チップの加工機械の製作依頼があったのです。弊社にとっては少し大きすぎる額の仕事だったのですが、ベトナムスタッフのやる気を信じ、受注することにしました。

木材から皮を剥ぎ、合板用にチップにするという仕様で、1 時間に 50

DATA

株式会社キーテック

- 代表者 / 代表取締役 岸場 功修
- 従業員数 / 10 名
- 住所 / 〒 520-3042 滋賀県栗東市辻ミノリ 694-2
- 創業 / 2000 年
- 業務内容 / 一般産業機械の設計、製作、保守
- TEL : 077-551-4801 (代)
- URL : <http://www.key-tech.co.jp> E-mail : kishiba@key-tech.co.jp



トンを処理するという高いスペックが要求されました。しかし、なかなかそのスペックに届かず、何度も改良をくり返す状態が思いのほか長く続いたのです。

その結果、会社の運転資金が苦しくなり、資金調達に奔走する日々が続きました。「会社を潰してしまうかもしれない」という状況にまで追いつめられ、もうこれ以上無理だと諦めかけたその時、銀行から融資の連絡を受けたのです。それから1ヶ月後、無事、要求されたスペックを達成し、設備を納入することができました。その結果、発注元の建材メーカーの合板生産量は以前の3倍になったそうです。

この成功のおかげで、ベトナム工場も軌道に乗り、現在では22人のベトナム人スタッフがいきいきと働いてくれています。

厚い信頼で結ばれた 優秀な人材が成功の秘訣

—ベトナム工場の成功の秘訣は？

やはり、いい人材に恵まれたことです。ベトナム工場を立ち上げる時、日本に機械工作技術の勉強に来ていた3人のベトナム人研修生に出会いました。優秀で真面目な性格に惹かれ、この3人に一緒に働いてくれないかと頼みこみ、ベトナム工場がスタートしたのです。その一人が、現在、製造部長のLong（ロン）さん

です。彼を採用する際、家族を大切にしている本人から「故郷の両親に会ってほしい」と言われ、ハノイにあるご実家に挨拶に行きました。私も彼の両親に会うことで、責任ある日本の保護者だと自覚することができました。

今、ベトナム工場に日本人スタッフはおらず、すべて彼らに任せています。ベトナムのスタッフ教育に関しては、数名ずつ、栗東の工場に呼び寄せ、日本のやり方を覚えて帰ってもらうという方法をとっています。現地に日本人スタッフを派遣するよりも、日本に来て働いてもらう方が、日本語を覚えたり、仕事以外の日本文化に触れる機会が多いように思います。

—これからの目標は？

好調なベトナム工場同様、栗東の本社工場も堅調に業績を伸ばし、おかげさまで4期連続黒字の見込みです。2年前に長男がキーテックに入社し、管理課長として頑張ってくれています。視野を広げてさらなるビジネスチャンスをつかみたいと考

え、プラザさんの紹介で、商談会*にも積極的に参加しています。おかげ様でたくさんのお見積もり依頼をいただき、新しい仕事に繋がったケースもあります。

やはり商談会でも弊社がベトナム工場を持っていることに興味を持たれるお客様が大変多いです。「失礼ですが、どうして御社のような社員10人の会社がベトナムに工場を持つことができるのですか？」とストレートに疑問をぶつけられることがあります。そんな時は「勇気と夢と、いい人材に出会えたからです」とお答えしています。

5年後の目標は、ベトナム工場を栗東工場と同等の技術レベルにすることです。ベトナムの経済発展は目覚ましく、人件費も上がりつつあります。現地の様々な業種で、手作業でしていた工程を機械化しようという動きが出てくるでしょう。その時が、設計から保全までのトータルサービスを行える、キーテックの出版だと思っています。

今年中には、ベトナム本社工場の建設を予定しており、さらなる飛躍の年となりそうです。



▲ベトナム工場。岸場社長が家族のような信頼関係で結ばれているという自慢の従業員たち。



▲日本に技術やマネジメントを学びに来ている製造部長のLongさんとTaiさん。ベトナム工場を取り仕切る幹部メンバー。

※プラザの販路開拓支援

プラザでは、取引先拡大のためのビジネスマッチング（商談会）の開催や取引に関する相談、海外展開の際アドバイスが受けられる貿易投資相談窓口など、多岐にわたる支援を行っています。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 販路開拓課 担当/中嶋・植村・谷口(斉)
TEL : 077-511-1413 FAX : 077-511-1418 E-mail : hanro@shigaplaza.or.jp

新素材「PlaRain®」の開発で プラスチック加工の可能性を拓く

有限会社 和晃プラスチック

代表取締役社長 むらき かずよし 村木 和好 さん

プラスチックの押出成形加工、溶着加工、切削加工などを手がける有限会社 和晃プラスチック。モックアップモデルの製作から量産品の生産、製品の出荷管理に至るまで、幅広く対応している。また、協力会社と独自の事業形態で「プラスチックの総合メーカー」を目指し、新しい分野にも挑戦し続けている。「プラスチック加工で出来ないことはない」という技術力に加え、しが新事業応援ファンド助成金を利用して開発した「PlaRain®（プラレイン）」が様々な業界から注目を浴びている。



時代に合わせ進化し続ける プラスチック素材

— PlaRain® の開発の経緯を教えてください。

弊社は樹脂成形や溶接、溶着、切削の受託加工が主な業務です。リーマンショックや東北大震災の際、原材料が入って来なくなり、苦しい経験をしました。そこで従来の受託加工以外の自社製品が必要だと感じ、「しが新事業応援ファンド助成金」※



▲ライティングフェア 2013 に出展したランプシェード。今までにない素材とデザイン性が話題になり、全国紙にも取り上げられた。

を利用して、自社製品を模索し始めました。

最初は何を作っているのかわからなかったのですが、プラザさんの専門家派遣事業を利用して、デザイナーなど外部スタッフと相談し進めていくことにしました。そこで、浄化槽用に作っていたフィルターの技術をインテリアに活かさないかというアイデアが出て来たのです。それが PlaRain® です。

糸のようにしたプラスチックを複雑に絡み合わせた PlaRain® は、軽く光を通し、形も自由に変えられるということで、ランプシェードにぴったりでした。2013 年に東京ビッグサイトで行われたライティングフェアに出展したところ、高い評価をいただき、大手家電メーカーなどから多くの問い合わせがありました。

2015 年にはドイツの Ambiente 展やフランスの MAISON&OBJET 展

に出展し、海外にも PlaRain® を PR することができました。この時、イタリアのリネンメーカーの目に留まり、現在、サンプルなどを送ってやりとりをしています。このメーカーは、高級ホテルの内装などを手がけており、クッション等に PlaRain® の使用を検討されているようです。

他にも、クローザーの床面に使うなど、ヨーロッパならではの展開ができるのではないかと考えています。

クリエイティブな感性を刺激 する素材の力

— 今後どのような商品に展開していくのですか？

PlaRain® は当社が期待する商品ではありますが、売上げはまだ小さく、売上げの 9 割をフィルターなどの委託販売が占めています。一方で

DATA

有限会社 和晃プラスチック

- 代表者 / 代表取締役社長 村木 和好
- 従業員数 / 14 名
- 住所 / 〒 528-0235 滋賀県甲賀市土山町大野 4810 番地 1
- 設立 / 1995 年
- 業務内容 / プラスチックの成形・加工 PlaRain の製造・販売
- TEL : 0748-67-8047



引き合いはいっぱいあり、展示会で PlaRain® を見たクリエイターの方から、私たちでは思いつかないようなすばらしい利用方法を提案していただいています。

例えば、大成建設(株)の「TAISEI DESIGN WEEK 2016」という社内設計コンペでは、会場となる本社の会議室を PlaRain® で全面装飾され、会議室とは思えない幻想的な空間を作り出していました。

ファッションデザイナーのコシノヒロコさんからも、2016 Spring & Summer Collection 用にバッグを PlaRain® で製作したいというオファーがありました。他にも、テレビ番組のセットに使われたり、有名ミュージシャンの衣装に検討していただいたり、可能性はどんどん広がっています。

— 販路開拓はどのようにされていますか？

展示会に出展し、声かけいただくことがほとんどです。特に設計事務所から、店舗の内装に使いたいとい

う依頼が多いです。ガラスより軽量で安価なので、期間限定のディスプレイにも使いやすいようです。昨年は PlaRain® のマネキンをメーカーと協同で製作しました。今後、国内や海外の展示会に出品する予定です。

WEB サイトも、販路開拓に非常に役立っています。月に1件はWEBを通して問い合わせがあり、取引に繋がるケースもあります。

— 今後の目標は何でしょうか？

クリスマスシーズンを前に、イルミネーションに関する問い合わせが殺到しました。しかし受注生産であるため納期に間に合わず、お断りすることがいくつかありました。このように需要が見込まれる商品に関しては、規格品を用意しておかなければならないと思っています。

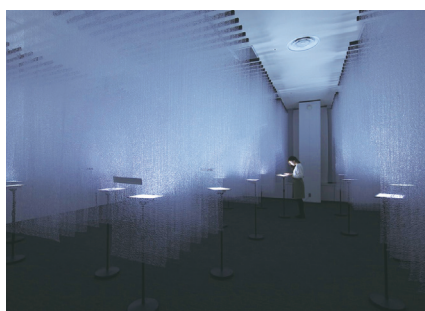
将来的には付加価値の高い量産品を開発していきたいと考えています。PlaRain® は密度や硬度を変化させることが可能です。着色したり、抗菌等の機能性をもたせたり、パイオ



▲ PlaRain で作ったソファ。軽くて持ち運びができるうえ、通気性・耐水性がバツグン。座り心地も普通のソファと遜色がない。

マスプラスチックなどで製作することもできます。精密機械を梱包する材料や、ソファのように、もっと生活に密着した、くらしを豊かにするような商品を世に送り出し、たくさんの方に PlaRain® を知っていただければ嬉しく思います。

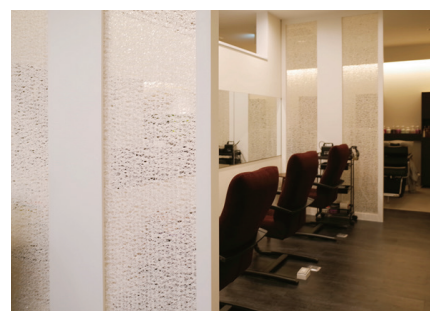
PlaRain® の開発を通して、今まで関わることのなかったデザイナーやメーカーと連携ができたことは、非常に大きな経験となりました。特にプラザさんからは、弊社にない視点でアドバイスしてもらったことが、とても役に立ちました。現状に満足せず、これからもチャレンジを続けていきたいと思っています。



▲大成建設(株)の社内設計コンペの会場となった本社会議室。PlaRain で全面を装飾し、幻想的な空間に。



▲ HIROKO KOSHINO 2016 Spring&Summer Collection。無縫製で作られる PlaRain のバッグが、新しいファッションとして提案された。



▲美容室のパーテーションとして使われている PlaRain。他にもジュエリーショップなど店舗の内装としての需要が高い。

※しが新事業応援ファンド助成金「事業実施事例集」が完成しました!!

このたび、地域資源を活用した地域ブランド力の強化や、地域経済の活性化を支援する『しが新事業応援ファンド助成金事業』の「平成28年度版 事業実施事例集」を作成しました。

本事業開始から応募数も年々増加し、これまでの累計採択件数は304件となりました。過去3年間(H26年度～H28年度まで)の採択事業の中から、61の事例を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

URL : http://www.shigaplaza.or.jp/cms/wp-content/uploads/2016/11/f-jirei_vol5.pdf



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課 担当/長谷川・谷口(直)・中村
TEL : 077-511-1412 FAX : 077-511-1418 E-mail : in@shigaplaza.or.jp

戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)をプラザがサポート

(公財) 滋賀県産業支援プラザでは、これまで公的資金制度を活用した産学官連携による研究開発プロジェクトを推進し、新事業創出に向けた県内企業の皆様の技術力強化をサポートしてきました。

なかでも経済産業省の補助金事業であるサポイン事業については特に注力しており、平成 28 年度においては全国最多の 6 件が採択されました。今後もプラザでは公募申請から事業管理までを一貫して強力で支援いたします。

◆経済産業省が所管する補助金「戦略的基盤技術高度化支援事業」(サポイン事業)とは…

中小企業・小規模事業者が大学・公設試等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組等を一貫して支援する事業

- 補助事業期間：2 年または 3 年間
- 補助上限額：初年度 4,500 万円 3 年間で約 1 億円 (補助率：2/3、大学・公設試等は 100% 補助)

★豊富な知識や経験・ノウハウを持ったコーディネータにより、半年以上前からのブラッシュアップを行い、申請！！

	平成 26 年度			平成 27 年度			平成 28 年度		
	申請	採択	採択率	申請	採択	採択率	申請	採択	採択率
全国	387 件	150 件	38.8%	326 件	143 件	43.9%	287 件	114 件	39.7%
近畿経済産業局	103 件	44 件	42.7%	87 件	36 件	41.4%	58 件	21 件	36.2%
産業支援プラザ	6 件	5 件	83.3%	7 件	5 件	71.4%	8 件	6 件	75.0%

採択件数 全国 1 位

サポイン事業 実施企業様からの声

研究推進委員会▶



▲サポイン事業者説明会



現在サポイン事業で導入した最新鋭の設備や解析手法を駆使して、新工法における要素技術の研究開発に挑戦しています。弊社を中心に滋賀県の工業技術センター等の参画機関同士が連携して技術のオープンイノベーションが図れるように取り組んでいます。

優れた安定動作を実現する産業機器を開発するための精密加工に取り組んでいます。社内の力では解決困難なテーマでしたが、専門家による定期的なアドバイスと必要経費の補助により、短期間で開発の目途を立てることができました。

医療分野の新製品の開発から販売促進まで、参画機関や滋賀県産業支援プラザのサポートを受けて進めています。学会展示では「製品化後、すぐに購入したい!」という医療関係者からの有難いお言葉を多数いただいております。発売に向けて鋭意開発中です。

ご興味・ご関心・具体的テーマを
お持ちの企業様は是非、お気軽にご相談ください。

※2月27日開催の「公的資金制度説明会」においてサポイン事業を詳しく説明する予定です。是非ご参加ください。

⇒15頁のインフォメーション参照



熱田 参与



草間 コーディネーター

私たちが全力でサポートします!

平成26～28年度サポイン事業採択プロジェクト 16テーマ

採択テーマ名	参画機関名
パワー半導体の鉛フリー化を実現する特殊マイクロ銀焼結ペーストの開発 (H26～H28)	化研テック株式会社、滋賀県東北部工業技術センター
高機能薄膜製造における高粘度スラリー液用極低脈動移送ポンプの開発 (H26～H28)	ヘイシンテクノベルク株式会社、兵神装備株式会社、中川加工技術研究所、滋賀県東北部工業技術センター、滋賀県工業技術総合センター
精密な大型空中結像光学パネルを実現するためのレーザー加工とダイヤモンドワイヤーソー切削の複合技術の開発 (H26～H28)	有限会社オプトセラミックス、京都大学、株式会社アスカネット、泉陽光学株式会社
国民病「顎関節症」の治療に最適な革新的次世代型開口訓練システムの開発 (H26～H28)	山科精器株式会社、東京医科歯科大学、滋賀県工業技術総合センター
自動車用シートインサート材の立体成形同時裁断技術の開発 (H26～H28)	大塚産業マテリアル株式会社、株式会社伊吹機械、滋賀県東北部工業技術センター
厚板小物高精度絞り部品の製造を可能とする工程独立式可変速押し込み複動機構を用いた押し込み絞りプレス加工技術の確立 (H27～H29)	日伸工業株式会社、滋賀県工業技術総合センター
3次元ウォータージェット交絡による自動車用不織布製電磁波シールド立体成型部品の開発 (H27～H29)	大塚産業マテリアル株式会社、滋賀県東北部工業技術センター
IMO規制に適用する船舶用尿素SCRシステムの高効率浄化反応器の開発 (H27～H29)	高橋金属株式会社、滋賀県東北部工業技術センター
革新的巻線技術による在宅用人工呼吸器向けマイクロモータの開発 (H27～H29)	草津電機株式会社、信越電線株式会社、ケービーエス工業株式会社、滋賀県工業技術総合センター
ナノカーボンファイバーを用いた電気自動車用キャパシタ電極の開発 (H27～H29)	株式会社大木工藝、関西オートメ機器株式会社、京都工芸繊維大学、龍谷大学、滋賀県工業技術総合センター
メディカルマイクロニードルパッチ製造のための微細精密加工の研究開発 (H28～H30)	近畿精工株式会社、日本写真印刷株式会社、株式会社カフィール、龍谷大学、滋賀県工業技術総合センター、滋賀県東北部工業技術センター
水素混合燃料焚き小型高性能ボイラの開発 (H28～H30)	株式会社ヒラカフ、関西大学、滋賀県工業技術総合センター、滋賀県東北部工業技術センター
高電圧半導体スイッチを使用した電子線滅菌用高電圧パルス電源の開発 (H28～H30)	株式会社パルスパワー技術研究所、山梨大学、名古屋大学、熊本大学
自動車衝突安全規制に適合するステアリングコラムの溶接技術開発 (H28～H30)	高橋金属株式会社、滋賀県東北部工業技術センター
骨格構造に最適な大腿骨骨折治療用 BHA 人工股関節システムの開発および実用化 (H28～H30)	株式会社オーミック、産業技術総合研究所、滋賀県工業技術総合センター
実車環境を模擬する電動車両用台上モータ駆動システム評価装置の開発 (H28～H30)	スマック株式会社、大阪府立大学

 はプロジェクトリーダーです。

問い合わせ先 (公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 ものづくり支援課

TEL : 077-511-1414 FAX : 077-511-1418 E-mail : shin@shigaplaza.or.jp

IoT をビジネスに活かす

1. IoTって何？

最近話題の「IoT」(アイ・オー・ティー:Internet of thingsの略)ですが、パソコンやスマホなどの情報通信機器に限らず、身の回りにある様々な「モノ」にセンサーが組み込まれ、実社会のあらゆる情報がインターネットを介してつながることを指します。

一昔前、～いつでも、どこでも、何でも、誰とでもネットワークにつながる社会～「ユビキタスネットワーク社会構想」が話題になりましたが、技術やコスト面で時期尚早の感があり、あまり浸透しませんでした。しかし、技術が進化し、デバイスやインフラも高機能・低価格になった今、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTという新たな概念で急速に広がり始めました。

IoTが世界中で注目される理由は、私たちの生活やビジネスを根底から変える可能性があるからです。

たとえば、奥さんから「帰りに卵を買ってきてね。」といわれて買ってくると「どこで買ってきたの？そこは高いのよ！」などと文句を言われたりします。ところがIoT冷蔵庫が登場すると、卵がなくなりかけたとき、冷蔵庫が残りの個数と賞味期限を判断し、安売りのお店を探して自動的に注文してくれる、といったことが可能になります。つまり、IoTが普及すると「ヒット」がやってほしいことを「モノ」が条件に合うものを選び出し、最適な方法で効率的に提案・実行してくれるのです。

また、予期せぬ災害や突発的な事故が起こった場合でも、集めたビッグデータをもとにAI(人工知能)が状況を分析し、起こりうる可能性のある二次被害

も予想し、最善の手を打ちます。被災地に取り残された人々には、必要な食料や物資を最善の運搬手段とルートを割り出し届けます。

このように、IoTは私たちの社会をより安心して便利で豊かなものにするものとして期待されています。

2. IoTは中小企業に何をもたらす？

では、IoTは企業の、とりわけ中小企業にどのような変革やビジネスチャンスをもたらすのでしょうか。製造業の場合、IoTを導入した工場では、工場内の様々な設備や部品の状態をセンサーが情報(ビッグデータ)として集め、ネットワークを経由して人工知能(AI)が分析、判断します。その結果を設計部門や工場内にフィードバックすることで、品質や生産性の飛躍的な向上が可能になります。

大きな投資が必要と思われるかも知れませんが、安いセンサーをたくさん買ってきて手作りで工場をIoT化し、数十万円で生産性を6割もアップさせた事例もあります。

さらに、受発注から物流まで一貫してIoT化することで、納品先のメンテナンスの迅速化や、ニーズにきめ細かく対応した変種変量生産を、低コストで実現することも可能です。

また、サービス業でもIoTは新たな事業機会をもたらします。事例のe-kakashi(イーカカシ)やTensens(テンセンス)は、大企業でなくてもアイデア次第で新たなビジネスを創造することができる好例といえます。

IoT を利用した事例

事例1 旭鉄工株式会社 西尾工場

安いセンサーやスイッチを大量購入。工場の設備に取り付け無線で結び、IoTを手作り。

●ラインの稼働状況を自動で可視化し、停止時間を3時間/日、短縮 ●生産個数、稼働時間を自動集計し、生産性を6割アップ

事例2 e-kakashi(イーカカシ) ~IoTで効果的な栽培指導~

農産物の膨大な生育環境データ(温湿度、土壌水分、CO₂濃度等)をセンサーで収集。熟練農家の栽培技術・知識とともに、わかりやすく伝える。

<https://www.e-kakashi.com/>

事例3 SKYCATCH(スカイキャッチ) ~ドローンで測量し自動で3Dデータ化~

工事現場を、ドローンに搭載したカメラやセンサーでデータ収集、解析してショベルカーの熟練者と同じ作業を、自動制御で実現。

<https://www.skycatch.com/>

事例4 Tensens(テンセンス) ~ワイヤレス温度監視システム~

日本酒造りに必要不可欠な、麴(こうじ)や醪(もろみ)の温度情報をセンサーで収集し、インターネット経由でサーバーに蓄積。酒造業界では初のワイヤレス温度監視システムと酒造業務管理ソフトとの連携で、製造工程での業務の効率化や品質管理の向上を実現。滋賀県企業:シンプレスト

<http://www.shigaplaza.or.jp/simplest/>

残念ながら日本は、IoT普及のための国家戦略が必ずしも明確でなく、例えば電波帯域の見直しや通信規格の整備など、国の主導が不可欠の取り組みもドイツやアメリカに比べて遅れています。また、IoTに対する産業界の理解も進んでいるとは言えず、日本のIoTはまだ始まったばかりというのが現状です。

しかし、IoTの波はグローバルに急速に広がりつつあり、日本でも大手企業を中心にIoTビジネスを先取りしてグローバル競争で勝ち残ろうとしています。こうした動きはやがて中小企業にも必ず波及し、IoTの仕様にに対応できず脱落していく企業も出てくると考えられます。一方でIoTを利用した新たな商品やサービスがベンチャー企業からも次々と生まれており、参入の機会が拡大しています。しかし、それは同時に、より競争が厳しくなることも意味しています。

IoTは、決して大手企業の話でもテクノロジーの話でもありません。製品やサービス、ひいては社会全体を一変させ、中小企業にも大きな変革を迫るものとして受け止めることが求められているのです。

3. 県内大学の取り組み

さて、IoTは私たちの生活やビジネスを根底から変える可能性があると言いましたが、まだまだ課題も多いのです。一つは、セキュリティ対策です。モノに組み込まれたセンサーそのものがウイルス等の脅威にさらされ生データが流出する恐れがあります。もう一つの課題は、人材です。まだまだ、IoTは発展途上の段階にあるため、その活用を考え具現化するエン

ジニアは不足していると言われています。また、ビッグデータを分析し付加価値を創造できるような人材は、ニーズが急速に高まるでしょう。

そうした背景からここでは、滋賀県内の教育現場の体制や取り組みの方向を紹介します。

【滋賀大学】

- 2017年4月からデータサイエンスを本格的に学べる日本で初めての「データサイエンス学部」がスタート。

「IoT社会において、ビッグデータを使ってどのような価値を創造できるかが重要なテーマになります。単にコンピュータや統計学が使えるだけでなく、ビッグデータから価値創造し、社会の役に立つものを生み出す人材育成を目指します。そのため、できるだけ実社会での演習を増やし、企業との共同研究もさらに推進していきます」。

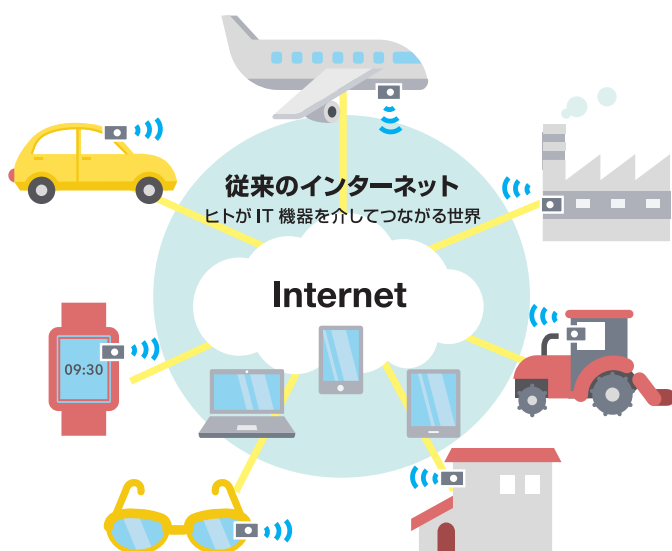
【滋賀県立大学】

- 2017年4月設立予定の「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」でICTによる地域産業創出と人材を育成。

「地域課題である「過疎化」、「高齢化」、「地域格差」等を解決するため、本学の強みを生かして、特に農業・看護・観光をターゲットに地域の独自性・多様性をIoT等で発展させ、新産業創生等を通して、より豊かな滋賀県の実現につなげます。

IoTは、ネットワークに乗せる情報と乗せない情報をしっかり区別することが大事。個々の企業の強みや独自性はブラックボックス化して競争力の源泉とすべきで、すべてオープンにする必要はありません」。

IoT：実社会のあらゆるモノがインターネットにつながる世界



施策情報

- (1)平成28年度経済産業省関連予算等の概要
http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2016/
- (2)平成29年度経済産業政策の重点、概算要求・税制改正要望について
<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2017/>
- (3)平成29年度総務省所管予算等の概要
http://www.soumu.go.jp/menu_yosan/yosan.html
- (4)平成29年度文部科学省予算等の概要
http://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/h29/1376617.htm

情報提供元

滋賀大学 データサイエンス教育研究センター
教授・センター長 竹村 彰通 氏

滋賀県立大学 工学部 電子システム工学科
教授 酒井 道 氏

いきいき滋賀モノづくりセミナーin草津

- 日時：2017年2月7日(火) 13:00～17:00
- 場所：ホテルポストプラザ草津 (草津市西大路町1-27)
- 定員：50名

※特に「AI(人工知能)が難しいのでよくわからない」という方やAI活用に興味がある方へおすすめです!!



講師 半田 久志 氏

- ① 講演 テーマ：「AI(人工知能)が変えるモノづくりの世界」
【講師】近畿大学准教授 博士(情報学) 半田 久志 氏
- ② 討論会 テーマ：「中小企業ができるAIの活用に向けて」
【討論者】センスプロ(株) 代表取締役 中村 俊昭 氏
NECエンジニアリング(株) マーケティング部長 深澤 英希 氏
日本ソフト開発(株) 情報コーディネータ 光山 和弘 氏
【モデレーター】(株)いろあわせ 代表取締役 北川 雄士 氏



近年、IoTやビッグデータという言葉に表されるように、大規模なデータが容易に入手できるようになりました。このような大規模データを活用することにより、適用分野によっては人間を凌駕している AI(人工知能)について、メカニズムを平易に説明するとともに、実データに適用するときの勘所をご講演いただきます。討論会では、半田教授にご参加いただき、パネリストがそれぞれの立場でAI活用をどのように捉えているかを討論していただきます。

- ③ 交流会 名刺交換・情報交換を通じて、同業種・異業種の企業とのネットワークを作るチャンスです!

問い合わせ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 販路開拓課 担当 / 植村・中嶋
TEL: 077-511-1413 FAX: 077-511-1418 E-mail: hanro@shigaplaza.or.jp

出張相談会 in 草津

新たにビジネスをお考えの方、企業経営でお悩みの方、
まずはご相談ください。

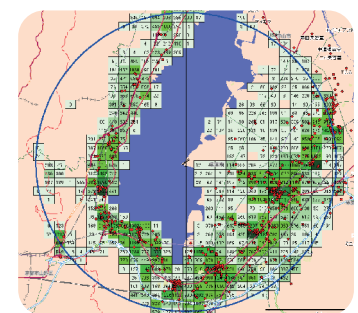
- 日時：2017年2月7日(火) 13:00～17:00
- 場所：ホテルポストプラザ草津 (草津市西大路町1-27)
- 募集対象：滋賀県内に事業所を有する中小企業
- 概要：相談内容に応じ、プラザの相談員が対応させていただきます。

相談メニュー

- ① 販路開拓相談 → 売れる仕組み作りからの販路開拓・販路拡大支援
- ② 経営改善相談 → 経営改善計画、ビジネスプラン、中期経営計画策定支援
- ③ 資金調達相談 → 資金繰り相談、開業資金事前相談
- ④ 国際ビジネス相談 → 海外進出相談、貿易相談全般
- ⑤ 取引あっせん相談 → 受発注(製造委託・修理委託)に関する相談及び受発注企業情報の紹介
- ⑥ 下請かけこみ寺 → 企業間取引に関する様々な悩みの相談、アドバイス
- ⑦ 新事業応援ファンド → 地域資源を活用した新商品・新サービス開発に対する助成金
- ⑧ マーケティング分析 → 商圏分析システムで、貴店の商圏の分析をします
- ⑨ その他の相談 → 創業相談、経営革新計画、知的財産相談、各種補助金相談、IT活用相談等

※商圏分析コーナー紹介

当日、あなたのお店の
「商圏マップ」を作成いたします。



問い合わせ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 経営相談室 担当 / 北川・福田
TEL: 077-511-1413 FAX: 077-511-1418 E-mail: keiei@shigaplaza.or.jp

近畿経済産業局や滋賀県の担当者が、 製造系の中小企業者が活用できる補助金や支援策を紹介する 「公的資金制度説明会」を開催します！

- 日時：2017年2月27日(月) 13:15～16:30
- 場所：コラボしが21 3階大会議室(滋賀県大津市打出浜2-1)
- 対象：県内企業経営者、大学・公設試験等研究開発機関、産業支援機関関係者 等

【プログラム】

内 容	講師等
経済産業省関連制度説明 ● 中小企業等経営強化法による支援 ● 省エネ・新エネ関連設備等の導入に対する支援 ● ものづくり支援策 ● NEDO分野横断公募事業 等	経済産業省 近畿経済産業局等 担当者
滋賀県制度説明	滋賀県担当者

※滋賀県産業支援プラザのホームページ(<http://www.shigaplaza.or.jp/kouteki-shikin-h28/>)をご確認の上、ホームページからお申込みください。

問い合わせ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 ものづくり支援課 担当 / 福井・有宗
 TEL: 077-511-1414 FAX: 077-511-1418 E-mail: shin@shigaplaza.or.jp

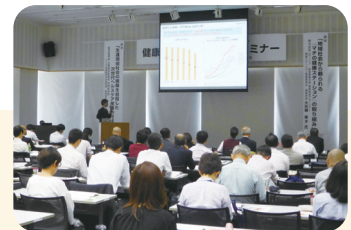
しがウェルネスファーム 第4回健康支援サービス創出セミナー

- 日時：2017年1月30日(月) 13:30～17:30
- 場所：びわ湖大津プリンスホテル(大津市におの浜4-7-7)

【主な内容】

- 講演「愛知県東海市における『いきいき元気推進事業』について」
 後藤 文枝 氏 愛知県東海市市民福祉部 健康いきがい対策監 保健師
 「地域におけるヘルスケアサービスの事業化について」
 志水 武史 氏 (株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニア・エキスパートマネージャー
- 「しがウェルネスファーム」事業モデル検討事例報告
 佐伯 武士 氏 (株)ELT 健康増進研究所 所長
 梅本 友希 氏 守山市地域包括支援センター 保健師
- 展示会・交流会(名刺交換会)

参加者同士の交流、マッチングの場として、またサービスの紹介、デモ機器の展示も行います。



H28.10月に開催したセミナー

しがウェルネスファームとは“治療・介護から予防への転換”に寄与する新たな健康支援サービス事業の創出を支援するプラットフォームです。

詳細はホームページ(<http://www.shigaplaza.or.jp/swf/>)をご覧ください。

問い合わせ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 医工連携課 担当 / 山崎・梅村
 TEL: 077-511-1414 FAX: 077-511-1418 E-mail: swf@shigaplaza.or.jp

創業、新事業に挑戦する方の強い味方がここにあります！

プラザが運営する「インキュベーションオフィス」は、起業家とともに考え、行動するハンズオン型*の支援施設です。単なる賃貸施設と異なるところが特徴です。起業家の夢の実現を通じ、地域の経済・産業の活性化のお役に立つことが私たちの使命です。

* ハンズオン型とは、インキュベーション・マネジャー等の専門家による各種支援を組み合わせ、継続的に支援を実施すること。



インキュベーション施設	利用期間	ブース	利用料金	所在地
コラボしが21 創業準備オフィス	6か月	10ブース	5,142円/月	大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階 TEL:077-511-1412
コラボしが21 創業オフィス	3年 (但し1年更新)	13室	35,729円/月 ~84,725円/月	
草津SOHO ビジネスオフィス	3年以内	20室	28,900円/月 ~51,600円/月	草津市大路1-1-1 エルティ932 4階 TEL:077-566-8121
米原SOHO ビジネスオフィス	3年以内	10室	22,600円/月 ~26,500円/月	米原市下多良2-137 文化産業交流会館 4階 TEL:0749-52-9200
テクノファクトリー	5年以内	12区画 (工場棟)	204,000円/月	草津市野路東7-3-46 TEL:077-516-0410

入居者の声

インキュベーションマネジャーにサポートしてもらえるのが良かったです。

入居者同士の交流によりネットワークの構築ができたことが良かったです。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課

TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418 E-mail: in@shigaplaza.or.jp

滋賀県よろず支援拠点セミナー案内

開催予定日	場所(定員)	テーマ	講師等
①1月23日(月) ②1月27日(金) ③2月3日(金)	大津市 コラボしが21 (20名)	小さな企業の商品づくりと販路開拓セミナー 内容 小さな企業が商品づくりをする場合の基本的な考え方に始まり、商品づくりの仕組み、販路開拓を3回シリーズで実施。	岡本英志氏 マルチプロデュース プラス
①1月24日(火) ②2月6日(月) ③2月28日(火)	大津市 コラボしが21 (20名)	企業経営者のための営業力が身につくセミナー 内容 多くの経営者の悩みである「提案営業」による営業力の強化について、営業の基本からアプローチ方法などの実践まで、3回シリーズで学ぶ。	西原 猛氏 一般社団法人日本プレゼン テーション教育協会
2月14日(火)	草津市 クサツエストピア ホテル (50名)	小さな企業のお金をかけない広報戦略セミナー 内容 これまでのように商品・サービスの提供者側からではなく、顧客側の視点で価値あるものが求められるようになってきている。いかに早く自社の事業活動を知ってもらい、商品やサービスの購買につなげていくかが重要。お金をかけない効果的な自社PRの方法、メディア掲載戦略を学ぶ。	大谷芳弘氏 株式会社マジック マイスター・コーポ レーション
3月3日(金)	大津市 コラボしが21 (60名)	成果事例報告セミナー 内容 滋賀県よろず支援拠点の活用について、基調講演および成果報告会を行う。報告会では、支援により成果が上がった企業3社による事例発表を予定。	「よろずの3年間の総括と今後の展開について」をテーマに講演を計画

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ よろず支援拠点 担当 / 西田・北村・西山・羽柴

TEL: 077-511-1425 FAX: 077-511-1418 E-mail: yorozu@shigaplaza.or.jp

滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト

企業の皆さまの新事業展開や販路拡大、人材確保を支援します。

産業・雇用創造推進センターでは、滋賀県が実施する「滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト」のうちの次の3つの事業を受託しており、平成29年度(最終年度)も今年度と同様に事業を実施する予定です。ぜひ、活用をご検討ください。詳細はホームページ(<http://www.shigaplaza.or.jp/sksc/>)をご覧ください。



高度専門人材確保支援事業(企業提案型人材力確保事業)

新規事業展開や販路拡大のための、高度な技術・知識・経験等を有する人材の雇用に要する経費を支援します。(上限額:200万円/人)



新規事業展開トライアル支援事業(企業提案型人材力確保事業)

新規事業展開等に向けた試作開発や販路拡大に係る経費の一部を支援します。(上限額:50万円/件)



滋賀のモノづくり企業合同就職面接会の開催(産業別就職支援事業)

中小企業等の事業所と若年求職者とのマッチングを支援するため、合同就職面接会を県下2か所で開催します。

問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 産業・雇用創造推進センター

TEL: 077-511-1424 FAX: 077-511-1418 E-mail: sksc@shigaplaza.or.jp

滋賀ものづくり経営改善インストラクター派遣事業受付中

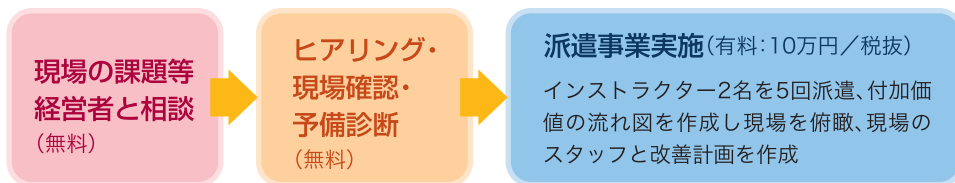
「現場力最大化！」

生産性向上を図る現場の人材育成を
滋賀県産業支援プラザがお手伝いします！

県内中小企業を対象に、経営改善のご要望にお応えします。

- 強い現場となるためのきっかけをつかみたい
- 現場の付加価値の流れを知りたい
- ボトルネックを見つけたい など

滋賀ものづくり経営改善インストラクター派遣事業の流れ



事業実績

H27年度5社

H28年度7社

事業成果事例

【取組前】

- 品質問題が発生
- 生産過程の流れが不明瞭

【成果】

- ワークショップを通じて品質向上に向けた改善ポイントの共有化実現
- ものと情報の流れ図を作成し生産過程の見える化実現

第3期滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール募集について

現在第2期スクールを開講中ですが、来年度第3期スクールを開講予定ですので、ぜひご検討ください！

事業目的: 県内企業の経営基盤強化・安定のための人材育成、企業退職者人材の活用

対象: ①滋賀県内企業現場責任者、幹部候補者等(25万円・税抜) ②ものづくり企業等退職者(10万円・税抜)

講座概要: 平成29年9月から平成30年1月まで、全23日(土曜日、1月は金曜日、土曜日)

事業実績: 第1期(H27年度)16名修了、第2期(H28年度)15名受講中



問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 滋賀ものづくり経営改善センター

TEL: 077-511-1423 FAX: 077-511-1429 E-mail: mmic@shigaplaza.or.jp

2017年
1月～3月

平成28年度 イベント・セミナー概要

RECOMMENDED

プラザ渾身の企画で、イベント・セミナーを開催中!! 1月～3月の開催予定を公開!!
今年度は、ビジネスカフェあきんどひろば・起業セミナーを重点実施、創業支援を強化しております。
開催日の約1ヶ月前から、参加募集しますので、プラザホームページまたはメルマガをチェックしてください。

※掲載内容は予定ですので、詳細はホームページ等で確認してください。

開催予定日	イベント・セミナー名	概要	対象	定員数	担当課
1/16 月	第2回 マッチング フォーラム	製造現場に於いて実践してきた最新事例や成果を 交え、オムロンが考える製造業の将来とFA戦略に ついて語ります。	製造現場の将来に ついて興味を持つ 県内経営者	100名	ものづくり 支援課
1/20 金	ビジネスカフェ あきんどひろば in草津	ベンチャー企業の資金調達向け プレゼンテーション術	ベンチャーのみなら ず広く中小企業の経 営者 営業幹部	30名	創業 支援課
1/30 月	第4回 しがウェルネス ファームセミナー	新たな健康支援サービスの創出に向けた気運の醸 成と担い手の発掘を図り、ヘルスケア現場の課題や 解決策を収集し、情報を提供します。	保健・医療・福祉団体、 県内企業、大学・試験 研究機関、産業支援 機関等	50～ 100名	医工 連携課
2/7 火	いきいき滋賀 モノづくり セミナーin草津	中小企業の事業機会の増大や企業価値の強化・向上 及び新規成長分野への進出などに向けて企業の自立 的・持続的な成長を促すための情報を提供します。	県内モノづくり 中小企業	50名	販路 開拓課
2/8 水	ビジネスカフェ あきんどひろば inマイマhouse	起業するためのマネジメント力を鍛える 5つのポイントについて解説します。	創業を考えている女 性(男性の参加も可)	20名	創業 支援課
2/8 水	アジア展開 セミナー (ハラルセミナー)	日本を訪れるムスリム観光客の受け入れ環境の整 備についてわかりやすく解説します。	海外展開をしてい る企業	40名	販路 開拓課
2/14 火	小さな企業の 広報戦略について	顧客のニーズ(不足や悩み)を早くつかむため、自社 の活動を知ってもらい、商品サービスに関心を寄せて もらう広報戦略について解説します。	売り上げアップに向 けた PR 戦略に関心 のある中小企業と小 規模事業者	80名	よろず 支援拠点
2/16 木	ビジネスカフェ あきんどひろば in滋賀大学大津サテライトプラザ	カフェ等の飲食店で起業を目指す方に、知識やノウ ハウを提供します。	創業を考えている方	30名	創業 支援課
2/22 水	ビジネスカフェ あきんどひろば inコラボしが	商品やサービスの開発における、デザインの重要性に ついて解説します。	創業まもない方	40名	創業 支援課
2/27 月	公的資金制度説明会	研究開発の促進を目指し効果的に公的資金制度を 活用するため、国・県から最新の各種制度内容の情 報提供を行います。	ものづくり企業を 中心とした県内中 小企業者	100名	ものづくり 支援課
3/1~2 水・木	近畿・四国 合同広域商談会	福井、京都、大阪、兵庫、和歌山、徳島、香川、高 知、愛媛、鳥取、滋賀の計11府県が合同で行う商談 会を開催します。	11府県受注登録企 業	発注企業 180社 受注企業 500社	販路 開拓課
3/3 金	よろず支援拠点 成果事例 報告セミナー	基調講演「お金をかけないで中小企業が売上を上 げるための秘訣について」。支援により成果が上 がった企業3社の事例発表を行います。	中小企業と小規模 事業者	80名	よろず 支援拠点
3/9 木	ビジネスカフェ あきんどひろば inコラボしが	経営者が起業や多店舗展開をする時に経験してきた ことから、経営強化のポイントについて解説します。	創業まもない方	40名	創業 支援課

プラザホームページ

<http://www.shigaplaza.or.jp/>

プラザメールマガジン (※メルマガ配信登録は、無料です。)

<http://www.shigaplaza.or.jp/mlmgnw/>

地域の創業応援隊育成事業

新たにインキュベーション・マネジャーが11名誕生！

県内の各地域で、起業者の発掘から成長までを身近に支援する人材(インキュベーション・マネジャー)を養成する「地域の創業応援隊事業」において「インキュベーション・マネジャー(IM)養成研修」が5か月半に渡る研修を経て、このほど修了しました。

研修受講者は、県内の産業支援機関の職員やビジネス・インキュベーション施設で起業支援に携わっている方々です。今年度は商工会・商工会議所、信用保証協会、大学のインキュベーション施設等の職員計11名のインキュベーション・マネジャーが新たに誕生しました。起業・創業をお考えの皆様の様々な相談や支援に対応できる人材として、今後の活躍が一層期待されます。



インキュベーション・マネジャー養成研修 修了生の皆さん

インキュベーション・マネジャー養成研修

修了者インタビュー

平成28年度のIM養成研修を修了された、長浜商工会議所の吉井康治さんにお話を伺いました。



長浜商工会議所 中小企業相談所 次長 **吉井 康治さん**

— 研修を受講して、どのような気づきがありましたか。

起業家は十人十色であり、創業の段階ごとに抱える課題や悩みもさまざまです。その方にとって最善と思われる伴走型支援をより心掛けなければと感じました。また、支援側の考えや思いを押し付けるのではなく、タイミングを見計らって提案・支援を行い、長所は長所として伸ばし、不足な点を徐々に支援していくことが重要だと気づかされました。

— 今後どのような活動を予定されていますか。

早々に「長浜(湖北)地域IM情報交換会」の立ち上げに取り組みます。まず今回の研修を共に受講した湖北地域の商工会職員の方々との情報共有、続いて長浜地域のBI施設「長浜バイオインキュベーションセンター」のIMや米原以北の商工会および商工会議所の経営指導員間の情報共有を図り、近隣支援機関との連携を強化することで、地域のニーズに合った支援体制をつくりあげたいと考えています。

また、創業支援においては、市域内で創業を目指す方々を支援し、安定して事業継続できる体制へと結びつけることに重点を置きますが、市域外からの創業希望者へのアプローチ回数を増やし、長浜地域の起業家を一人でも多く増やしていきたいと考えています。市域外から転入して創業する方と地元事業主との融合を図ることで、長浜地域全体の活性化が進む可能性が高まるからです。その橋渡し役として、湖北地域への移住・交流を支援している「いざない湖北定住センター」との連携や商店街の空き店舗を利用し創業希望者の創業スペースとして活用いただけるよう、空き物件の最新情報を数多く提供できる体制づくりに努めていきます。

夢は大きく持ち、「開業するならば、滋賀県長浜地域で！」と言っていただけのような地域環境づくりを目指して、邁進していきたいと思っています。

問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課

担当/船越・川端

TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418 E-mail: in@shigaplaza.or.jp

頑張る企業を 応援します！

- 経営課題に対応した相談や専門家を派遣します。
- 販路の開拓やマッチングを支援します。
- 産学官金の連携をコーディネートします。
- 起業・創業のお手伝いをします。
- 地域資源を活かした新事業に助成します。
- 企業の情報化を支援します。
- 企業の人材育成を支援します。



専門家派遣



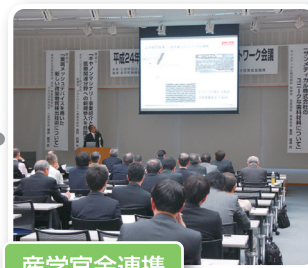
出張相談会



交流会



展示ギャラリー



産学官金連携



ビジネスカフェ



セミナー



研究会活動



公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号コラボしが21 2階
 TEL 077-511-1410 (代表)
 FAX 077-511-1418
 E-mail info@shigaplaza.or.jp
 URL http://www.shigaplaza.or.jp/

■ JR琵琶湖線(海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分
 ■ 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分(JR 膳所駅 / JR 石山駅乗り換え)



【編集後記】今号は「滋賀のキラリと光るモノづくり企業」をテーマにモノづくり企業取材しました。「キラリと光る」部分は、だれもがうらやましく不思議に見えるかもしれませんが、その企業にとっては、生まれるべくして生まれたモノでした。チャレンジに人は感動し、出会いがきっかけとなり奇跡がおきるのかもしれない。プラザも企業様の新しい奇跡に繋がるよう努力していきます。